

自治体分科会

■事例発表：福井県

「企業、NPO などとの連携による子育て支援
～「スマイルFカード」、「すみずみ子育てサポート」など～

福井県 健康福祉部子ども家庭課 課長補佐
池上 栄志 氏



スマイルFカード事業					
事業概要					
<ul style="list-style-type: none"> 18歳未満の子どもが3人以上いる世帯を対象に、「スマイルFカード」を発行 協賛企業・店舗において割引・特典サービスを提供 協賛企業、サポーター企業として事業に参画 協賛企業は1店舗当たり5千円の協賛金、サポーター企業はカード特典設定がなく、「スマイルFガイド」への広告掲載により参画 					
実施状況	<table border="1"> <tr> <td>カード優待店舗</td> <td>1,020店舗</td> </tr> <tr> <td>カード保有世帯</td> <td>9,280世帯</td> </tr> </table>	カード優待店舗	1,020店舗	カード保有世帯	9,280世帯
カード優待店舗	1,020店舗				
カード保有世帯	9,280世帯				
経 緯					
<ul style="list-style-type: none"> 多くの自治体において、優待カード事業化の動き 県商工会議所青年部連合会が少子化対策事業へ積極的であったことから、カード事業の実施に向け県と商工会議所青年部により具体的な事業内容を企画 平成19年10月に、県と商工会議所、商工会など経済団体とともに実行委員会を立ち上げ、行政、経済団体が一体となって企業協賛の働きかけ 平成20年3月から事業開始（カード優待790店舗） 					

■スマイルFカード事業

- 18歳未満の子どもが3人以上いる世帯を対象に、「スマイルFカード」を発行し、協賛企業・店舗において割引・特典サービスを提供。
- カード保有世帯数：9,280世帯…対象世帯の77%が保有
カード優待店舗数：1,020店舗…うち協賛企業250店舗、サポーター企業770店舗
(平成24年10月現在)
- 企業の参画種別
 - *協賛企業：1店舗当たり5千円の協賛金 カード特典設定あり
 - *サポーター企業：「スマイルFガイド」への広告協賛 カード特典設定なし
- 県と商工会議所青年部連合会が協力して、平成19年10月に実行委員会を立ち上げ、平成20年3月からカード事業開始（カード優待790店舗からスタート）。

制度設計に当たっての考え方
<ul style="list-style-type: none"> 行政・民間協働の子育て支援事業として、企業からの協賛金による事業運営 子育て世帯応援のためのカード事業として、各店舗が独自に発行しているポイントカードとの違いを明確化 広く子育て世帯対象に授乳やおむつ交換スペース設置など企業の子育て応援の取組を促進し、子育てに優しい地域社会づくりを推進 ふくい3人っ子応援プロジェクトより多子世帯対象に経済的支援を実施しており、割引・特典により多子世帯を応援するメッセージを発信
<p>※3人っ子応援プロジェクト（H18年度～） 子どもが3人以上いる世帯の第3子以降3歳未満児にかかる保育料、一時預かり・病児保育利用料等の無料化</p>
課 題
<ul style="list-style-type: none"> 協賛店舗が市街地に多く、カード利用もドラッグストアや量販店などが多い一方、地域店舗の利用が少なく、地域社会全体での子育て応援とした事業目的が希薄化 商工会議所など地域経済団体が、県下の会員企業に広く参画を求めるメリットが少なく、どのように企業協賛を継続、新規確保するか 協賛企業募集やカード優待の店舗情報紙作成、カード発行・更新など運営にかかる県・商工会議所での事務分担の見直し

- 行政・民間協働の事業として、企業からの協賛金による事業運営。
- 子育て世帯応援のためのカード事業として、各店舗独自発行のポイントカードとの違いを明確化。
- 3人っ子応援プロジェクトとの連携で子ども3人以上世帯を応援。
 - *3人っ子応援プロジェクト(H18年度～)
子どもが3人以上いる世帯の第3子以降3歳未満児にかかる保育料、一時預かり・病児保育利用料等の無料化
- 対象を限らず広く子育て世帯対象に、授乳やおむつ交換スペース設置など企業の子育て応援の取組を促進し、子育てに優しい地域社会づくりもあわせて推進。

<課題>

- ・協賛店舗は市街地に多く、ドラッグストアや量販店が多い一方、郡部では小売店も少なく、なかなか利用できないなど、地域社会全体での子育て応援とした事業目的が希薄化。
- ・カード利用が量販店等に偏ることで、地域経済団体が県下の会員に広く参画を求めるメリットが少なく、どのように企業協賛を継続、新規確保するか。
- ・カード発行・更新などの運営に係る県・商工会議所での事務分担の見直し。

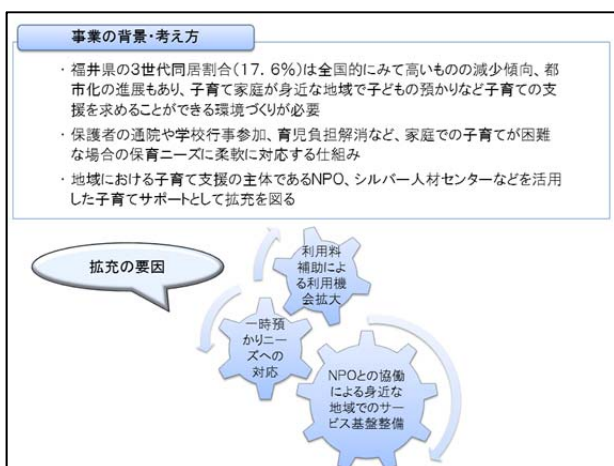
すみずみ子育てサポート事業																					
事業概要																					
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が通院、冠婚葬祭、子どもの学校行事への参加など、一時的に子育てへの支援が必要となる場合、地域のNPO、シルバー人材センターなど多様な主体により子育てをサポート(市町実施主体、NPO等に委託可) 																					
利用対象者	小学校就学前の子どもがいる子育て家庭 <small>※ただし、放課後児童クラブが利用できない時間において小学校3年生までの利用可</small>																				
サポート内容	①一時預かり(施設型、訪問型) ②保育所などへの送迎 ③生活支援(食事の用意、買い物等)																				
<ul style="list-style-type: none"> ・利用料助成によりサービス利用に伴う経済的負担を軽減 																					
補助基準額	利用料金700円/時間(標準利用料)のうち半額350円/時間 <small>(負担割合: 県1/2、市町1/2)</small> <small>※ただし、第3子以降3歳未満児の利用は700円/時間を補助</small>																				
事業実績																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H16年度開始</th> <th>H21年度</th> <th>H22年度</th> <th>H23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施か所数</td> <td>5 (5市)</td> <td>39 (16市町)</td> <td>40 (16市町)</td> <td>41 (16市町)</td> </tr> <tr> <td>延利用者数(人)</td> <td>606</td> <td>44,978</td> <td>48,266</td> <td>44,359</td> </tr> <tr> <td>延利用時間(時間)</td> <td>2,046</td> <td>189,099</td> <td>193,760</td> <td>172,769</td> </tr> </tbody> </table>		H16年度開始	H21年度	H22年度	H23年度	実施か所数	5 (5市)	39 (16市町)	40 (16市町)	41 (16市町)	延利用者数(人)	606	44,978	48,266	44,359	延利用時間(時間)	2,046	189,099	193,760	172,769
	H16年度開始	H21年度	H22年度	H23年度																	
実施か所数	5 (5市)	39 (16市町)	40 (16市町)	41 (16市町)																	
延利用者数(人)	606	44,978	48,266	44,359																	
延利用時間(時間)	2,046	189,099	193,760	172,769																	

■すみずみ子育てサポート事業

- ・保護者が通院、冠婚葬祭、子どもの学校行事への参加など、一時的に子育てへの支援が必要となる場合、地域のNPO、シルバー人材センターなど多様な主体により子育てをサポート。
- ・利用対象者: 小学校就学前の子どもがいる子育て家庭
*ただし、放課後児童クラブが利用できない時間において小学校3年生までの利用可
- ・サポート内容: ①一時預かり(施設型、訪問型)
 ②保育所などへの送迎
 ③生活支援(食事の用意、買い物等)

※ほとんどの利用事由・形態は①一時預かりである。

- ・利用料金 700 円/時間(標準利用料)のうち半額 350 円/時間が補助される。[負担割合: 県 1/2、市町 1/2] *利用者は自己負担分をその場で支払う。
- ・第3子以降3歳未満児の利用は 700 円/時間を補助(無料)。



- ・都市化の進展に伴い核家族が増加し、家庭の中でも地域の中でも子育ての手助けを得にくい状況になってきた。その中で、地域の子育て力を高めて支えていく必要があるという考えがあった。
- ・3つの歯車が事業拡充の要因である。
 1. 一時預かりニーズへの対応
 2. 利用料補助による利用機会の拡大
 3. NPOとの協働による身近な地域でのサービス基盤整備(隔々まで、子育てサポートを広げていく)